



〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5 階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



11月7日(金) 10:00~10:30 検数労連第1回 25冬季一時金交渉 25冬季一時金要求書提出。乗率重視！不透明な格差回答反対！ 組合要求に沿った回答の構築を求める！

2025冬季一時金要求書(要旨)

2025年冬季一時金および諸労働条件の改善について、下記の通り要求いたします。

記

1. 冬季一時金について

(1) 要求方式と要求額について

① 全日検

職員A

(本給+家族手当)×3.50ヶ月+一律10万円+都市加算とすること。

職員B

(本給+地域年齢手当)×3.50ヶ月+一律10万円+都市加算とすること。

② 日検

(本給+家族手当)×3.50ヶ月+一律10万円+都市加算とすること。

③ 都市加算の支給区分と金額については、別表の通りとすること。

④ 職員以外の従業員は、職員に準じて支給すること。

(2)

① 長期病欠者に対して、各々の支給基準の70%を支給すること。

② 通勤災害による休業者についても労災休業者と同一取り扱いとすること。

③ 一切の協会査定(特別評価)は行わないこと。

④ 転勤者の取り扱いについては、計算期間中のそれぞれの所属の地域区分に基づく日割計算、または12月1日現在所属地の地区区分のいずれか有利な方を適用すること。

(3) 支給日について

2025年12月10日(水)とすること。

(4) 諸要求について

厚生年金保険料の労使負担割合の改善をはかること。

以上

次回交渉 11月13日(木) 10時~
25冬季一時金スト権投票について
11月12日(水) 正午までに
中央集約とします。

【第一回交渉】

組合は10月30日(木)・31日(金)に開催された検数労連全国代表者会議で活発な議論を交わしたなかで全体の確認をもって左記の通り『25冬季一時金要求書』を決定。
11月7日(金) 第一回検数労連25冬季一時金交渉をスタートさせた。

組合は第一回検数労連25冬季一時金交渉で両協会に左記の要求書を提出。提出にあたり石橋中央委員長は、今冬季一時金要求書は10月30日・31日に開催された検数労連代表者会議で議論の経過を受け、全体の確認を得たものである。

代表者会議の中でも意見として挙がっていたが、諸物価高騰に対応する一時金は必要不可欠である。また、国交省・日港協連名のパートナーシップによる価格転嫁施策も継続されていることから、両協会の料金収受に対する取り組みも進んでいると思っている。

【組合主張】

先日開催された検数労連代表者会議では全体的に『乗率を重視した回答』『地域間格差のない回答』

既存業務の減少等も考えられるが、これらの要因を総合的に勘案しても要求に沿った回答を構築できると確信しているところである。両協会でも働く従業員の離職防止の観点からも組合要求に沿った回答を求める。

その後、組合は要求趣旨説明を行い、説明に対する補正として次の点を主張しました。



を求める声が多く上がったことから、回答構築に向けては組合要求通り、乗率重視・地域間格差のない回答を強く求める。
また、職場では『地域格差回答に対する不信感が蔓延している』との意見が多く出された。我々から見たら不透明と言わざるを得ない全日検の『調整加算』日検協会

【全日検】

全日検を取り巻く環境はこれまでと大きく変わっていないが、パートナーシップによる取り組みは継続的に取り組んでいる。
本日の交渉で受け取った要求書については持ち帰り検討していきたい。

【日検協会】

日検協会として、まだ収支等の具体的数字が出そろっていない中で、今日時点では回答構築に向けた考え等は披露できる段階には無いが、本日受け取った要求書については持ち帰り様々な角度から検討してきた。

の『業績加算』については断固反対の立場を表明する。